



ドックラッセのボリュームのあるコートも、縦のラインを意識するとすっきり見える＝今利率撮影

# ダブルの上着 縦ライン意識

欧米の伝統的なトラッドスタイルが流行する中、両前あわせのダブルの上着が人気だ。ボックス型のゆったりとしたシルエットは、体形を選ばず、多くの人が楽しめる。



体をきゅしゃに見せる

衣料品通販「ドックラッセ」はこの時期、春向けの軽やかさを感じさせる膝丈のコート「ニードルメルトン・ミドルコート」（1万7490円）を販売している。冬用コートの定番素

材であるメルトン生地を用いながら、軽い着心地に仕上げた。大きめの襟が華やかな雰囲気醸す。

同社スタイリストの中野弓子さんは「胴回りにゆとりがあつて、肩のラインを落としたデザイン。体をきゅしゃに見せてくれます」と話す。

着用する時は、縦のラインを意識したコーディネートを考えたい。たとえば、明るいブルーのコートには、ハイネックのセーターとファー素材のロングベ

## コートやブレザー 長方形のシルエット強調



① マッキントッシュフィロソフィーの紺色ブレザーは、前合わせを留めると、ややかじまった雰囲気  
② 赤いニットと白のパンツを合わせれば、大人のトリコロールスタイルに（東京都内で）＝大金史典撮影

スト、細かいプリーツのロングスカートを合わせる。モスグリーンのコートには、同系色のセーターと白のフレアパンツを選ぶ。

「長方形のシルエットが強調されて、すっきりと見えます。色味もしぼった方が着こなしにまとまりが出ます」と、中野さんはアドバイスする。

改まった場へも

金ボタンの紺色ブレザーもトラッドファッションに欠かせないアイテムだ。

三陽商会のブランド「マッキントッシュフィロソフィー」の「ウォッシュアップウールネイビーブレザー」（4万8400円）は、着用時のバランスに配慮した商品。肩周りはコンパクトにした一方、着丈を長めにして腰回りにゆとりを持たせた。

小花柄のワンピースを合わせると柔らかな印象。学校行事や改



まった場へも着ていくことができる。金ボタンがアクセントになり、アクセサリを付けなくても華やかだ。

春を意識するなら、トリコロールカラーのコーディネートもお薦め。厚手の赤いニットと白のワイドパンツを合わせた装いは、清潔感があり快活な印象になる。

シャツやブラウスにボーダー柄のカーディガン合わせたマリン調にまとめるのもいい。

同ブランド担当の足立浩平さんは「ダブルのテラードジャケットは堅い印象になりがちですが、華やかな色柄のアイテムと組み合わせると、品のよいカジュアルスタイルを楽しむことができます」と話している。